

第54回指定都市子ども会ジュニア・リーダー研修会 名古屋大会に参加して

〔報告〕

1 日目、僕たちが名古屋市少年宿泊センターに到着してまず始まったのは、親睦レクでした!!

内容は新聞紙を使ってお題に含まれる文字を見つける簡単なゲームでしたが、皆んなで協力することによって、仲を深めることができました。

2 日目は、僕が楽しみにしていた市内散策がありました! 僕の班は名古屋城からスタートして電気の科学館、大須商店街を観光しました。特に、昼食で食べた名古屋名物の味噌カツはとっても美味しかったです。 夜はあいにくの雨だったため、キャンプファイヤーではなく、模擬ファイヤーをしました。今年JLを卒業する高校3年生の方々は真剣な顔で、最後の大会にかける思いを力強くレクで表現されていました。



3 日目、最後の研修で情報交換会をしました。

そこではJL所属人数の減少、経済的問題、規模の縮小など、各都市からたくさんの問題が飛び交っていましたが、各都市それぞれに環境を生かした工夫がされていて、とても勉強になりました。 お別れ会では、写真撮影やビンゴ大会をして、最後の時間を思いっきり楽しみました。



〔感想〕

僕はこの大会を終えて、ジュニアに対する思いがとても強くなりました。また、改めてジュニアの凄さ、大切さに気づくことができました。

2 日目が終わって就寝する前に、仙台市の子と2時間ほどJL活動についてのお話をしました。その子によると、仙台市JLは教育委員会からなっていて、市内に30サークルもあり、一年に派遣要請の数が何十件もあると聞いてとても驚きました。僕は個人的に仙台市JLはとっても活発で、自信に満ちていて、なんでこんな上手いのかなあ? と不思議に思っていたのですが、この話を聞いて派遣要請で得た経験が仙台市JLを強くしていると確信しました。しかし、良い話ばかりではなく、仙台市は他の都市とは仕組みが異なり、遠征費が支給されず、今回も中学3年生の子が約十万円も払って大会に参加しているということを知りました。このような環境下でも、一生懸命に頑張っている仙台市の子たち、とても尊敬します。

今回は例年あった都市レクがスケジュールの関係で無く、各都市の皆んなが用意してきていたが発表は予想外にもすることができませんでした。さらに、班のメンバーの他に全体で交流する機会が少なかったです。こんな状況でどうしてもこの大会で皆んなと交流がしたいと、5人のメンバーが立ち上がり、大会の責任者に夜遅くまで説得をしていました。すると、20分程度時間を獲得することに

成功して、その時間より仲を深めるレクをしました。僕は、この時動いてくれた5人のおかげで、悔いのなく大会を終えることができました。感謝しかありません。

1日目の研修で、ジュニアについて深く考えた後に大会の目標を決めました。僕は、「表に出てる人、裏で仕事をしている人がこの大会にどんなことを思って行動しているのか？ みんなにどう気を遣っているのか？ たくさんのことに気づく」という目標を立てました。すると、他の都市のユース・リーダーの方から、「この目標に感謝してそれを行動に生かしてみて！」とアドバイスをくださいました。僕はこれを目標を実践することでユース・リーダーに近づけた気がしました。これからも日々の活動に生かしたいと思います。

最後に、この大会に参加させて頂き本当にありがとうございました。

とても良い経験になりました!!

2025/8/4

チーフ 加藤寧雄

